

建築計画

教科	工業	単位数	2	学科・学年	建設工学科建築類型3年生	担当	建築類型職員
使用教科書	「建築計画」(実教出版)			副教材等	建築製図(実教出版)、ビデオ		

◇ 学習の到達目標 ◇

- ①集合住宅、事務所、小学校の建築計画を合理的に進めるための基礎的な知識と技術を身に付けます。
- ②都市計画に基づき、建築物を建築するときに必要となる基礎的な知識を身につけます。
- ③建築設備の概要を正しく理解し、合理的に設備計画を進めるための基礎的な知識と技術を身に付けます。

◇ 科目の特色 ◇

3年生の「建築計画」は、各種の建築物や建築設備を合理的に計画し、豊かで快適な建築空間を創り出すしていくための基礎・基本的な事柄を学ぶ科目です。内容としては、「建築物の内外の環境」、「集合住宅の計画」、「事務所の計画」、「建築設備の計画」を各計画の流れが理解できるように学んでいきます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	第3章 各種建築物の計画 1) 集合住宅の計画 2) 事務所の計画 3) 小学校の計画	・集合住宅、事務所、小学校を計画するための調査・検討項目や隣棟間隔、共用部分と住戸計画との関連、各室を計画するための基本的な事柄について学習する。 【前期中間考査】
7 9	第4章 都市と地域の計画 1) 都市と都市計画 2) 都市計画制度と都市計画法 3) 建築と地域の計画 4) 地域の計画とまちづくり	・都市における都市計画の目的や理念、都市計画の基本的なしくみについて学習する。 ・都市に建築物を設計する場合や、新しい市街地を計画する場合の配慮すべき事項について学習する。 ・各地域の特性を活かした環境づくりの具現化をはかる方法について学習する。 【前期期末考査】
10 12	第5章 建築設備の計画 1) 建築設備の概要 2) 給排水・衛生設備	・建築設備の目的や設備計画の基本的な事項を学習する。 ・給水設備の方式を理解し、タンクの容量設計をする。 【後期中間考査】
1 2	3) 空気調和・換気設備 4) 電気設備 5) 防災設備 6) 搬送設備	・空気調和設備の目的・構成・方式を学習する。 ・各設備の目的や原理など基本的な事柄を理解し、それを応用して平面計画の中で考える。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	学習活動を通して設計者としての心構えや態度を身に付けているか。建築の諸要素を合理的に活用しようとしているか。
思考・判断・表現	建築計画に関する諸問題を的確に把握し、適切な判断と創意工夫をして問題解決をしようとしているか。
技能	建築物を計画する方法を身に付け、その過程や計算の結果を図や文章で表現できるか。
知識・理解	建築計画に関する基本的な知識や総合的にまとめる方法、用語、記号、各種の役割を理解しているか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

- ①授業中における態度
 - ②ノート、レポート、プリントなどの提出物
 - ③自己評価、授業評価の提出プリント
 - ④定期考査
- また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

各種の建物を計画するための過程や、安全・快適で住みやすく働きやすい環境・空間にするためには、どのような理論や方法、設備機器が良いのかなどについて考えてみましょう。